

無線通信研究委員会

WP 6A会合 (ジュネーブ)

報告書

平成 29 年 3 月 21 日 ～ 平成 29 年 3 月 29 日

目次

1. まえがき	1
2. 会議の概要	4
2.1 会議の構成	4
2.2 主要結論.....	4
3. 審議の内容	9
3.1 テレビジョン(SWG 6A-1)	9
3.2 保護(SWG 6A-2)	18
3.3 共用(SWG 6A-3)	24
3.4 その他(SWG 6A-4).....	29
3.5 音声(SWG 6A-5)	33
4. あとがき	39
表 1 日本からの出席者 (5 名)	40
表 2 入力文書 (97 件)	41
表 3 出力文書一覧(33 件)	47

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第 6 研究委員会(SG 6 : 放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2017 年 3 月 21 日 (火) ~ 3 月 29 日 (水) (7 日間)
開催地 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議長 : A. Nafez氏(イラン)
副議長 : W.Sami氏(EBU)、R. Bunch氏(Free TV Australia)
D. Hemingway氏(BBC)、P. Lazzarini氏(バチカン)、
L. Olson氏(米国)、J. Song氏(中国)、
参加者 : 36 ケ国+20 機関から 108 名(名簿登録者。事務局除く)
日本 : 佐々木 (総務省)、西田、根岸、三谷、成清 (NHK)
(表 1 参照)
入力文書 : 97 件 (表 2 参照)
出力文書 : 33 件 (表 3 参照)

出力文書の概要

SG6 に提出:10 件

新勧告案 : 1 件

- (1) ITU-R BS.[IRDR_FREQS] 「短波による緊急放送のための国際災害救援放送周波数の利用」 (6A/TEMP/59)

勧告改訂案 : 1 件

- (1) ITU-R BT.1368-12 「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」 (6A/TEMP/62)

レポート改訂案 : 4 件

- (1) ITU-R BT.2252-2 「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」 (6A/TEMP/63)
- (2) ITU-R BT.2299 「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」 (6A/TEMP/66)
- (3) ITU-R BT.2254-2 「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」 (6A/TEMP/75) ※一部SG6 に提出、一部その他
- (4) ITU-R BT.2337 「470-694/698MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動アプリケーションとの共用検討」 (6A/TEMP/84)

新オピニオン案：1件

- (1) 「スマートフォンやタブレットにおけるラジオ受信機能の有効化」
(6A/TEMP/61)

レポート廃止案：1件

- (1) ITU-R BTシリーズのレポート廃止(6A/TEMP/68)

リエゾン文書案：2件

- (1) レポートITU-R BT.2337の改訂に関するSG5へのリエゾン文書 (6A/TEMP/81)
- (2) 'pixel'に関するCCVへのリエゾン文書 (6A/TEMP/90)

継続審議：13件

勧告改訂草案：2件

- (1) ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求」(6A/TEMP/64)
- (2) ITU-R BT.2036「地上デジタル放送の周波数プランニングのための標準用受信システム特性」(6A/TEMP/70)

レポート改訂草案：4件

- (1) ITU-R BS.2213-3「VHF帯のFM音声放送における音声信号処理と音声圧縮に関する影響」(6A/TEMP/60)
- (2) レポートITU-R BT.2344-0「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」(6A/TEMP/65)
- (3) レポートITU-R BT.2069「ENG, TVOB, EFPの調和周波数と運用特性」
(6A/TEMP/73)
- (4) ITU-R BT.2386-0「SFNの設計と導入」(6A/TEMP/91)

作業文書：3件

- (1) 新レポートITU-R BT.[UHFUSE]「470-862MHzにおける放送の特徴とアプリケーション」(6A/TEMP/79)
- (2) 新レポートITU-R BT.[WBR]「世界放送ローミング」(6A/TEMP/87)
- (3) 新レポートITU-R BT.[B3BCPARAM]「周波数共用・干渉解析のための174-230MHzにおける地上デジタル放送と音声放送システムの特性」(6A/TEMP/88)

研究課題改訂草案：1件

- (1) 研究課題の見直し(6A/TEMP/67)

その他：3件

- (1) WRC-19に向けた作業計画 (6A/TEMP/83)
- (2) レポートITU-R BT.2254-2「DVB-T2の周波数プランニングとネットワーク」の改訂に向けた要素(6A/TEMP/75)※一部SG6に提出、一部その他
- (3) 'pixel'に関するCCVへのリエゾン文書案 (6A/TEMP/74Rev1)

その他：11件

リエゾン文書：7件

- (1) WP3Kへのリエゾン文書「ダクト測定のためのMERの使用」(6A/TEMP/69)
- (2) WP3Kへのリエゾン文書「カバレッジ測定における場所変動」(6A/TEMP/85)
- (3) WP1A, WP1BおよびWPTに関するラポータグループへのリエゾン文書「研究課題210-3/1およびWRC-19 課題9.1.6に関するWPTの開発」(6A/TEMP/71)
- (4) WP1A, WP1B, WPTに関するラポータグループ, WP5B, CISPRに関するSG1ラポータグループ、およびCISPRのWPTに関するラポータへのリエゾン文書「CISPRなどの標準化団体との協力」(6A/TEMP/72)
- (5) WP7Bへのリエゾン文書「WRC-19 議題1.7（短期ミッション非静止軌道衛星による宇宙運用業務のための周波数ニーズの検討）に関する新レポート草案ITU-R SA[SHORT DURATION NGSO - CHARACTERISTICS]」(6A/TEMP/80)
- (6) WP1Aへのリエゾン文書「新レポート ITU-R SM.[NAT-APR]」(6A/TEMP/82)
- (7) WP1Cへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.1875の改訂に関する懸念事項と質問」(6A/TEMP/86)

ラポータグループの設置：2件

- (1) 中米、カリブ海地域の地デジコーディネーションに関するラポータグループの設置 (6A/TEMP/76)
- (2) CPM19-1 によるWRC-19 関連の研究を行うラポータグループの設置 (6A/TEMP/78)

コレスポネンスグループの継続：2件

- (1) 第1世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法に関するコレスポネンスグループの継続 (6A/TEMP/77)
- (2) 同一チャンネルにおける異常伝搬の影響を評価するためのMERの使用に関するコレスポネンスグループの継続 (6A/TEMP/89)

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の5つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)で審議を行った。

SWG 6A-1	テレビジョン	議長：W.Sami氏(EBU)
SWG 6A-2	保護	議長：D. Hemingway氏(BBC)
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏(Free TV Australia)
SWG 6A-4	その他	議長：T. Vieracker氏(NDR)
SWG 6A-5	音声	議長：J. Song氏(中国)

また、以下のラポータ(Rapp)、ラポータグループ(RG)、コレスポndenスグループ(CG)を終了・継続・設置した。

Rapp	内容	議長	
WPT	ワイヤレス電力伝送	J. Shaw氏(BBC)	継続
PLT-EMC	電力線通信	J. Shaw氏(BBC)	継続

RG	内容	議長	
11	FM放送のマルチプレクス電力	S.Ekome氏(フランス)	終了
RFHAZ	RFハザード	W.Sami氏(EBU)	継続
DTTCOO RF	中米およびカリブ海地域の周波数 数コーディネーション	T.Souares氏(ブラジル)	新規
WRC19	WRC-19	R. Bunch 氏 (Free TV Australia)	新規

CG	内容	議長	
REC.[BEY OND1STG EN]	第2世代の評価手法	R. Bunch 氏 (Free TV Australia)	継続
DUCTING MER	異常伝搬の評価のためのMER の使用	K. Huber (LS Telcom)	継続

2.2 主要結論

(1) テレビジョン

- ・ 勧告ITU-R BT.1368-12「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂

第1世代の地上デジタルTV方式の混信保護比が記載された勧告の改訂提案である。

2016年10月の前会合で中国より、DTMBの帯域幅7MHzの混信保護比をAnnex4に追加する提案と、DTMB-Aの混信保護比(帯域幅8MHzのみ)をAnnex5として追加する提案があり、継続審議のため、勧告改訂草案として議長レポートに添付されていた。

特段の意見なく勧告改訂案としてSG6へ送付した。

- ・ レポートITU-R BT.2252-2「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」の改訂

地上デジタル放送のカバレッジの客観的評価に関する情報をまとめたレポートの改訂提案である。

2016年10月の前会合で日本より、ISDB-Tのカバレッジ品質評価の情報を追記する提案をし、継続審議のためレポート改訂草案として議長レポートに添付されていた。

特段の異論なくレポート改訂案としてSG6へ送付した。

- ・ 中米とカリブ海地域における周波数コーディネーション

中米とカリブ海地域では、テレビのチャンネル帯域幅が6MHzと8MHzの国が混在していることや、空き周波数が少ないため、周波数をリパックしないとデジタル移行できないなどの問題がある。この地域より依頼を受け、デジタルテレビ放送への移行をサポートする目的で、BRより地上デジタル放送の各システムの混信保護比や最小受信電界などの情報を一つにまとめた文書が、内容確認のためWP6Aに入力された。

BRが作成した文書の確認および中米とカリブ海地域における周波数コーディネーションのサポートを行うためのRGの設置に合意した。

- ・ 放送ローミングに関する新レポートITU-R BT.[WBR]

今会合で中国は、勧告ITU-R BT.1306-7に定義されている地上デジタルテレビ放送システムのシステム識別手法に関する提案と、地上デジタルテレビ放送の国際ローミングを可能にするため、放送事業者とユーザーの携帯端末間で統一のユーザー認証を行う手法を提案した。

なお、システム識別手法に関しては、ATSC、DVB、DTMBは検証したが、ISDB-Tは対応できておらず、次会合で追加の情報を入力することになっている。

新レポート草案に向けた作業文書として議長レポート添付とすることに合意した。

(2) 保護

- ・ WP1A, 1Bへのリエゾン文書「レポートITU-R SM.2303：無線周波数ビーム以外の技術によるワイヤレス電力伝送」

WRC-19 議題 9.1 課題 9.1.6 になっているWPT（ワイヤレス電力伝送）に関するリエゾン文書である。

WPTで使用予定となっている4つの周波数帯（19-21 kHz, 59-61 kHz, 79-90 kHz, 100-300 kHz）について、EBUは、79-90 kHzは電気自動車の充電用なので電力が大きく中波放送に影響する可能性があり、より重要であるとコメントした。

WP1Aで改訂を検討しているレポートITU-R SM.2303「無線周波数ビーム以外の技術によるワイヤレス電力伝送」について、中波放送への影響を十分に検討するように求めるリエゾン文書を作成し送付した。

(3) 共用

・ CPM19-1 指定課題に向けた作業計画とRGの提案

CPM19-1 でWP6Aが関連グループとして指定されたWRC-19 議題を検討するためのRG設置の提案である。

WRC-19 議題のうち、課題 9.1.6（WPT）については既にWPT専門のラポータが存在するが、本RGで全体を把握できるようにするため、ToRIに課題 9.1.6を含めることとなった。

(4) その他

・ 勧告ITU-R BT.1871 「ワイヤレスマイクのユーザー要求」の改訂

2016年10月の前会合にて、勧告ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求」に関して、オーストラリアと米国から、自国のワイヤレスマイク周波数帯の情報を反映する改訂が提案され、継続審議のため議長レポート添付となっていた。

今回の改訂提案にあわせて、ドイツが、自国の情報が古くなっているため2017年10月の次会合で更新すること、カナダも改訂を提案する予定であることをコメントした。

オーストラリアと米国の改訂内容を反映し、勧告改訂草案として議長レポート添付とすることに合意した。

・ レポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」の改訂

2016年10月の前会合にて、レポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」に対して、NABA（North American Broadcasters Association）がスマートフォンに搭載されているFM受信機能を有効にする改訂を提案し、継続審議のため改訂草案に向けた作業文書として議長レポート添付となっていた。

今会合では、日本が災害時における放送継続のための取り組み事例として、

非常用送信車の情報追加を提案した。

日本とNABAの改訂提案を反映し、レポート改訂案としてSG6へ送付した。

- ・ レポート ITU-R BT.2344-0「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」の改訂

2016年10月の前会合にて、米国が自国におけるワイヤレスマイクの周波数利用状況を追加する提案を行い、継続審議のため改訂草案に向けた作業文書として議長レポート添付となっていた。

今会合では、日本が42GHz帯（ミリ波）を用いた8K UHDTV素材伝送用FPUの実験結果を、米国が周波数オークションの結果を追加する提案をした。

日本と米国の改訂提案を反映し、レポート改訂草案として議長レポート添付とすることに合意した。

- ・ SG6 研究課題の見直し

2016年10月の前会合でSG6議長より指摘があったSG6の研究課題の見直しに関する研究課題改訂案である。

日本は、SG6の研究課題を各WPの所掌に即した内容に見直すための具体的な修正案を提案した。

2017年10月の次会合まで継続審議とするため、修正後の研究課題改訂案を議長レポート添付とすることに合意した。

(5) 音声

- ・ 新勧告案ITU-R BS.[IRDR]「短波による緊急放送のための国際災害救援放送周波数の利用」

2016年10月の前会合にて、HFCC（短波周波数調整会議）より、国際災害救援放送（IRDR: International Radio for Disaster Relief）周波数としてリザーブすべき短波放送用周波数（7,400～26,010kHz）の提案があり、継続審議のため新勧告草案として議長レポートに添付されていた。

今会合で、HFCCより、TBDとなっていた6MHz帯および19MHz帯における使用可能な周波数と時間帯の修正提案があった。

タイトルを“short wave”から“High Frequency (HF)”に修正した上で、新勧告案としてSG6へ送付した。

- ・ SG6の新オピニオン「スマートフォン、タブレットにおけるラジオ受信機能の有効化」の提案

2016年10月の前会合で、NABA（North America Broadcasters Association）から「スマートフォンへのラジオ受信機能の有効化を推進する」という新オピニオンの提案があり、新オピニオン草案として議長レポートに添付されていた。

今会合で、ABU(アジア太平洋放送連合)とWBU-TC(世界放送連合 技術委員会)より、NABAの新オピニオンを支持する提案があった。

タイトル等のエディトリアルな修正を行った後、新オピニオン案としてSG6へ送付した。

3. 審議の内容

3.1 テレビジョン(SWG 6A-1)

SWG6A-1では、全30件の寄与文書を、一般、WP3Kへのリエゾン文書、用語の登録、レポートITU-R BT.2386の改訂、第2世代の評価、放送ローミング、レポートITU-R BT.2254の改訂の7つの議題に分けて議論することとした。6回のSWG会合で、13件のTEMP文書を出力した。1件の勧告改訂案、および2件のレポート改訂案をSG6へ送付、1件の勧告改訂草案、1件のレポート改訂草案、2件の新レポート草案に向けた作業文書を議長レポートに添付し、3件のリエゾン文書を送付した。また、第1世代以降の地デジシステムの評価に関するCG、および異常伝搬の影響を評価するためのMERの使用に関するCGの継続と、中米・カリブ海地域の周波数コーディネーションに関する新しいRGの設置に合意した。

○一般

- ・勧告ITU-R BT.1368-12「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂

入力文書：6A/161 Annex4 (前回議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/62 (SG6 送付)

審議結果：

2016年10月の前会合で中国より、第1世代の地上デジタルテレビ方式の混信保護比が記載された勧告 ITU-R BT.1368-12 について、DTMBの帯域幅7MHzの混信保護比をAnnex4に追加することと、DTMB-Aの混信保護比（帯域幅8MHzのみ）をAnnex5として追加することが提案され、継続審議のため、改訂草案として議長レポートに添付された文書である。

イスラエルより、code rate（符号化率）の単位がdBと誤解を招く表があると指摘されたが、BBCは符号化率の単位をdBと思う人はいないとコメントし、中国は他のシステムの表も同様の記載であると述べ、フランスもこれまで問題視されていないので中国をサポートすると発言したため、修正は行わなかった。その他、特段の意見なく勧告改訂案(6A/TEMP/62)としてSG6への送付に合意した。

- ・レポートITU-R BT.2252-2「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」の改訂

入力文書：6A/161 Annex7 (前回議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/63 (SG6 送付)

審議結果：

2016年10月の前会合にて、日本より、レポートITU-R BT.2252-2にシステ

ムC (ISDB-T) のカバレッジ品質評価の情報を追記する改訂を提案し、継続審議のためレポート改訂草案として議長レポートに添付された文書である。

特段の異論なくレポート改訂案(6A/TEMP/63)としてSG6 への送付に合意した。

・ 中米とカリブ海地域における周波数コーディネーション

入力文書 : 6A/237 (Director, BR)

出力文書 : 6A/TEMP/76 (議長レポート添付)

審議結果 :

BR局長からの入力文書であり、地上デジタル放送の各システムの混信保護比や最小受信電界などの共用検討の材料となる情報を一つにまとめた文書である。

SWG議長は、主管庁は既存のテキストを用いて共用検討できるものの、BRからテキスト内の数値が正しいか確認してほしいというリクエストがあったため応えたい、と参加者へ協力を呼びかけた。

BRより、中米とカリブ海地域における周波数コーディネーションに関するプレゼンが行われた。中米とカリブ海地域において、デジタルテレビ放送へ移行する際の検討すべき内容、ワークプランなどをサポートすることが目的であるとされた。この地域では、テレビのチャンネル帯域幅が 6MHzと 8MHzの国が混在していることや、空き周波数が少ないため、周波数をリパックしないとデジタル移行できないなどの問題がある。周波数の検討をするため、中米とカリブ海地域の主管庁が集まるCAC (Central American and Caribbean Region) 第1回会合が2017年3月に既に行われ、第2回会合が2017年の8月に、時期は未定であるが最終回の第3回会合が2017年内に行われる予定である。また、プレゼン資料は下記のURLから閲覧できることもアナウンスされた。

<http://www.itu.int/en/ITU-R/terrestrial/broadcast/Pages/default.aspx>

WP6Aとして、どのようなサポートが出来るかを議論し、BRが提案する周波数検討ソフトウェアの提供に賛成する意見や、有益な情報なのでITU-Dにも提供すべきなどの意見が出された。SWG議長は、DGの設置を提案し、Soares氏 (ブラジル) がDG議長を務めることで合意した。

DGで作成した中米およびカリブ海地域の周波数コーディネーションを検討するRGのToR案について、SWGで議論した。ロシア、イランの提案により、タイトルを「Technical criteria . . .」から「Planning parameter」に修正し、RGの設置(6A/TEMP/76)に合意した。

・ レポートITU-R BT.2383 「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにお

ける地上デジタルテレビジョン放送の特性」改訂草案

入力文書：6A/233 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/88 (議長レポート添付)

審議結果：

レポートITU-R BT.2383 に、地上デジタル音声放送のシステムパラメータを追加するEBUからの提案である。音声放送に関する提案であるため、当初はSWG5 で議論していたが、周波数をBand III (174~230MHz) だけに限定し、音声放送とテレビ放送の区別をなくしたため、SWG1 で議論することとなった。

今回のWP6A会合では、レポートITU-R BT.2383 のフォーマットをベースに、EBUの提案内容を暫定的に記載した文書を作成し、タイトルも含めて次回のWP6A会合で議論するため、新レポート草案に向けた作業文書(6A/TEMP/88)として議長レポート添付とすることに合意した。

・ ITU-D SG2 へのリエゾン文書

入力文書：6A/192 (WP6A議長)、6A/202 (ITU-D SG2)

出力文書：なし

審議結果：

6A/192 は、ITU-D SG2 研究課題 4/2 「規格準拠、相互運用性に関する途上国への援助」の相互協力に関する、WP6A議長からITU-D SG2 へのリエゾン文書である。WP6A議長は、勧告とレポートの一覧とDTTB導入ワークショップの資料が添付されていると説明した。2017年1月に送付済みであり、Notedされた。

6A/202 は、上記 6A/192 のリエゾン文書に対する返書である。特段の異論なくNotedされた。

・ IRG-IBBからの報告

入力文書：6A/195 (IRG-IBB)

出力文書：なし

審議結果：

IRG-IBB第7回会合の報告である。特段の異論なくNotedされた。

・ 新研究課題AIAV (Advanced Immersive Audio-Visual)

入力文書：6A/207 (CBS)

出力文書：なし

審議結果：

CBSからの、新研究課題草案ITU-R [AIAV]/6 に対する研究課題の再構成・拡張の提案であり、SG6、WP6A、WP6B、WP6Cに入力された文書である。特段の異論なくNotedされた。

・日本のUHDTV衛星放送に関する最新情報

入力文書：6A/219 (日本)

出力文書：なし

審議結果：

日本からの衛星放送のUHDTVの情報である。特段の異論なくNotedされた。

○レポートITU-R BT.2254 の改訂

・レポートITU-R BT.2254「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」の改訂

入力文書：6A/161 Annex10 (前回議長レポート添付)、6A/194(オマーン)、6A/208(CBS)

出力文書：6A/TEMP/75 (SG6 送付、議長レポート添付)

審議結果：

6A/161 Annex10 は、2016 年 10 月の前会合で、NDRからの 2.5 節に記載されている各種パラメータを用いたC/N値の計算手法を修正する提案と、EBUからのTable2.7 (帯域幅 1.7MHz) に記載してあるガードインターバル長の値を修正する提案をマージし、レポート改訂草案として議長レポートに添付されていた文書である。

6A/194 は、オマーンからの、DVB-T2 導入の第一フェーズ (人口が集中する国の北部をカバー) に関する文書である。(2016 年 10 月の前WP6A会合の最後に、オマーンが実施した野外実験結果の情報であると紹介があり、今回、同内容を寄与文書として入力した)。

6A/208 は、CBSからの、2017 年 1 月のCCV/SCV合同会合にて “digital divide”、“digital dividend”、“digital switchover” をITU用語データベースへ追加することが承認されたことを受け、レポートITU-R BT.2254 に登場する “digital switchover” と “digital dividend” に用語解説の脚注を追記する提案である。

本レポートは、上記 4 つの改訂提案があり、ドイツが、ガードインターバル長の誤記は至急修正すべきであるため改訂提案ごとに対応すべきとし、審議の結果以下の結論に合意した。なお、NDRの提案は、NDRが追加の情報を提供する可能性があるため継続審議を希望し、議長レポート添付に合意した。

入力元	入力文書	改訂内容	Annex	結論
EBU	6A/161 An10	ガードインターバル長の修正	1	SG6へ上程
NDR	6A/161 An10	計算C/Nと測定C/Nの差	2	議長レポート添付
CBS	6A/208	用語解説の脚注追記	3	SG6へ上程
オマーン	6A/194	DVB-T2導入状況の紹介	4	SG6へ上程

OWP3Kへのリエゾン文書

WP3Kへのリエゾン文書を検討するDG（DG議長：Huber氏(LS Telcom)）を設置した。

・カバレッジ予測の場所変動に関するWP3Kへのリエゾン文書

入力文書：6A/232 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/85 (LS送付)

審議結果：

EBUは、2016年10月の前会合でWP3Kより送付された、カバレッジ予測の場所変動に関するリエゾン文書（6A/95）に対する返書案を提案した。

SWG議長はDG議長に対して、リエゾン返書案の詳細はDGで検討するよう提案し合意した。

DGでは、DG議長が冒頭に、WP3Kは通常年に1回しか開催されないが、今年はWRC-19の議題1.13を検討するため年2回開催しており、その内1回が現在開催されているため、極力このリエゾン返書をWP3K開催期間中に送付したいと説明した。また、地上放送のネットワークプランニングにおける勧告ITU-R P.1546と勧告ITU-R P.1812の重要性、場所変動の発生要因に対するWP6Aの解釈、WP3Kへの新たな質問を記載したリエゾン返書案を議論し、ドラフティング作業を行った。

DGで作成したリエゾン返書案をSWGでセクション毎に確認した。エディトリアルな修正を行った後、コンタクトパーソンをDG議長であるHuber氏として、リエゾン文書(6A/TEMP/85)の送付に合意した。

・異常伝搬評価のためのMERの使用に関するWP3Kへのリエゾン返書

入力文書：6A/161 Annex15（前回議長レポート添付）、6A/205(Free TV Australia)、6A/238(CG on MER)、6A/239(CG on MER)

出力文書：6A/TEMP/69 (LS送付)、6A/TEMP/89 (議長レポート添付)

審議結果：

6A/161 Annex15は、2016年10月の前会合で設置した本CGのToRを記載し

た文書である。WP3Kからのリエゾン文書が発端となっており、MERの測定値からダクトによる干渉発生の状況を予測することを目的としている。特に異論なくNotedとなった。

6A/205 は、Free TV Australia からの、FreeTV Australia と CSIRO (Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation : 連邦科学産業研究機関) が行ったダクトの科学的な調査結果である。調査の結果、MER特性とダクトによる信号損失の間に相関が見られたとしている。また、気象庁の協力で 3Dのデータも得られたため、次回会合ではその情報も提供する予定であると補足した。英国からは、ダクトの状況は天候や気温に依存するが、キャリブレーションはしたのかとの質問があり、Free TV Australiaは、キャリブレーションしていると回答した。

6A/238 および6A/239は、MERに関するCG (CG議長 : Huber氏(LS Telcom))からの入力文書であり、6A/238 はCGの活動報告について、6A/239 はWP3Kへのリエゾン返書案である。6A/239 について、CG議長は、WP3Kからのリエゾン文書 (6A/96) に対して返信を検討するものであり、CGでは昨晚まで議論が続いていたと説明した。SWG議長は、現在の寄書内容は検討の出発点であり、これから議論を行い最終版にしてほしいと指示した。イスラエルからは、リエゾン文書を送っても相手側でいつ議論してもらえるか分からないので、直接WP3Kの会合に参加するのがよいのではないのかとの提案があった。それに対してSWG議長は、なるべく早く文書を用意して、CG議長がWP3Kで説明できるようにしたいとコメントした。

DGでは、DG議長より 6A/239 をベースに作成するとの説明があった。これに対し、NDRより、パイロットキャリアの扱いに関する資料を共有するので、各自確認の上、WP3Kへ提供することが提案された。また、先に紹介した6A/205 の情報をハイパーリンクでWP3Kへ提供することが提案された。最後に英国が何点かのエディトリアル修正を行ない、作成したリエゾン返書案をSWGで議論することに合意した。

SWGでは、DGで作成したリエゾン返書案を審議した。SWG議長がAnnex 1の部分で、修正履歴が残っていないためどの部分を修正したのかがわからないとコメントしたところ、NDRがWP6Aプレナリまでに準備すると返答した。また、コンタクトパーソンについてDG議長であるHuber氏 (LS Telcom) とし、本リエゾン返書(6A/TEMP/69)を送付することに合意した。

また、DG議長が、MERを用いた測定に関するCGは継続するのかと質問したところ、SWG議長は、継続する方向でCGのToRを見直し、コンタクトパーソンは引き続きHuber氏 (LS Telcom) とした上で、CGの継続(6A/TEMP/89)として議長レポート添付に合意した。

○用語の登録

用語の登録に関するリエゾン文書を検討するDG（DG議長：Einolf氏(CBS)）を設置した。

・ 勧告ITU-R BT.2036 の改訂

入力文書：6A/161 Annex13 (前回議長レポート添付)、6A/198 (CBS)、6A/215 (BBC)、6A/224 (イタリア、バチカン)

出力文書：6A/TEMP/70 (議長レポート添付)

審議結果：

6A/161 An13 は、2016年10月の前会合で議長レポート添付となっていた、“Adjacent channel selectivity threshold (broadcasting)” の定義に関するCCVへのリエゾン返書案である。

6A/198 は、CBSからの、“Adjacent channel selectivity threshold (broadcasting)” の定義についての修正案である。

6A/224 は、イタリア・バチカンからの、CBS（6A/198）が提案した“Adjacent channel selectivity threshold (broadcasting)” の定義を支持する文書である。SWG議長はBBCの提案と方向性が異なっているが、本寄書の提案者であるイタリアとバチカンが欠席していたためオフラインで調整が必要であると、CBSにDGを作成して検討を行うよう依頼した。

6A/215は、BBCからの、勧告ITU-R BT.2036「地上デジタル放送の周波数プランニングのための標準用受信システム特性」で使用されている“Adjacent channel selectivity threshold (broadcasting)” という単語は絶対値ではなく比率について言及していることから、誤用であり修正を求める提案である。勧告の記載を修正するのであれば、用語の定義やCCVへのリエゾン送付は不要であると説明した。これに対してCBSは、確かに比率について言及しておりBBCは正しい、とコメントした。

これを受けSWGでは、“Adjacent channel selectivity threshold (broadcasting)” のCCVへの用語の登録は行わず、勧告ITU-R BT.2036の“threshold”を“ratio”に修正することとした。

DGで作成した勧告ITU-R BT.2036の改訂案をSWGで審議し、勧告改訂草案(6A/TEMP/70)として、議長レポート添付に合意した。

○第1世代以降の地上デジタル放送システムの評価

2016年10月の前会合で第1世代以降の地上デジタル放送システムの評価に関するCGを設置しており、CGの継続およびWP1Cへのリエゾン文書を検討するDG（DG議長：Bunch氏(Free TV Australia)）を設置した。

・第1世代以降の地上デジタル放送システムの評価に関するCG

入力文書：6A/161 Annex14 (前回議長レポート添付)、6A/204 (CG BEYOND 1stGEN)、6A/234 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/77 (議長レポート添付)

審議結果：

6A/161 Annex14 は、2016年10月の前会合で、第1世代以降の地上デジタル放送システムの評価に関するCGのToRを記載した文書である。

6A/204 は、CGからの現状報告として、前会合で承認されたToRと、前々回の会合で作成されたITU-R BT.[Beyond1stGEN]の作業文書 (BibliographyにレポートITU-R BT.2382 を追加) である。

CG議長より、今回1つも関連する入力文書はなかったが、第2世代に関する勧告やレポートを準備・検討していくためにもCGは継続した方が良いとのコメントがあった。イスラエルは、WRC-19へ向けて検討を進めるべきだとコメントしたが、WP6A議長は、本寄書に添付されているの作業文書の目的は第2世代の地上デジタルテレビ方式の評価であり第1世代ではないこと、また、第2世代はDVB-T2のみとEditorial Note に書いてあり、WRC-19には関係ないとコメントした。

議長レポート添付となっていた6A/161 Annex14 を基にDGで修正した文書をSWGで審議した。修正箇所は、ToRの中で期間を2017年10月までにしたこと、上記6A/204 を反映したことであり、異論なくCGの継続(6A/TEMP/77)として議長レポート添付に合意した。

・WP1Cへのリエゾン文書

入力文書：6A/234 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/86 (LS送付)

審議結果：

前会合で、DVB-TおよびDVB-T2 の計画基準、カバレッジ測定、評価および査定に関する勧告とレポートをリストアップし、WP1Cへリエゾン文書を送付したが、勧告ITU-R SM.1875-2 へのDVB-T2 の情報追加を歓迎しつつも、勧告改訂にあたって留意点及び確認事項があるため、WP1Cへ再度リエゾン文書を送付するEBUからの提案である。

イスラエルは、WP1Cの次会合は6月に開催されるとコメントした。1つのリエゾン文書に2回もリエゾン返書を出す必要があるのかと疑問視する声もあったが、SWG議長は、前回は単なる勧告とレポートのリストの情報提供であり、今回は更に詳細な技術情報なので問題ないとコメントした。またSWG議長は、第2世代の評価を検討するDGの中でリエゾン文書案を検討するよう

指示した。

EBUからの入力寄書（6A/234）を基にDGで作成した、勧告ITU-R SM.1875-2の改訂にあたって留意点及び確認事項をまとめたWP1Cへのリエゾン文書をSWGで審議した。コンタクトパーソンをMazar氏（イスラエル）として、リエゾン文書(6A/TEMP/86)の送付に合意した。

○レポートITU-R BT.2386の改訂

レポートITU-R BT.2386の改訂を検討するDG（DG議長：Puigrefagut氏(EBU)）を設置した。

- ・レポート改訂草案ITU-R BT.2386「SFNの設計と導入」に向けた作業文書
入力文書：6A/161 Annex9（前回議長レポート添付）、6A/230(NDR/ZDF)
出力文書：6A/TEMP/91（議長レポート添付）

審議結果：

6A/161 Annex9は、2016年10月の前会合で議長レポート添付となっていた、中国からの本レポートの改訂提案である。SWG議長が中国に対して本改訂作業の扱いについて尋ねたところ、中国は、次会合で新たな寄与を行う予定であるため議長レポート添付のままとすることを希望した。

6A/230は、NDRからの、統計的なカバレッジ予測を実現するために「ネットワークゲイン」を考慮する新章を追加する提案である。英国より、directionalな受信でしかネットワークゲインを得られないのかという質問があり、NDRから固定受信よりも携帯受信のほうがゲインは得られること、また、それが分かりやすくなるよう寄書の表現を修正することが回答された。

DGで作成した、EBUと中国の寄与文書をマージし、general partを修正した文書を、SWGで議論した。また、英国から次回WP6A会合で新しい情報を入力する予定であるため議長レポート添付を希望するコメントと、NDRから再度寄書を入力する予定であるコメントがあった。

特段の異論なく、レポート改訂草案に向けた作業文書(6A/TEMP/91)として議長レポートに添付することに合意した。

○放送ローミングとグローバルプラットフォーム

- ・放送ローミングに関する新レポートITU-R BT.[WBR]

入力文書：6A/220（中国）、6A/222（中国）

出力文書：6A/TEMP/87（議長レポート添付）

審議結果：

6A/220は、中国からの勧告ITU-R BT.1306-7「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」に定義されている地上デジタル放送システ

ムの識別手法を提案する文書である。また、ATSC、DVB-T、DTMBは検証したが、ISDB-Tには対応できておらず、次のWP6A会合で追加の情報を入力すると付け加えられた。

SWG議長およびWP6A議長より、この文書の対応について質問があり、中国は新レポートを作成したいとコメントした。SWG議長は、新レポートを作成するためには最初に作業文書を作成する必要があるとコメントし、新レポートを作成するためのDGを設置することを提案した。中国は、DGは必要なく、他の国と議論しながら新レポートの作業文書を作成するとコメントした。

6A/222 は、中国からの、地上デジタルテレビ放送の国際ローミングを可能とするために、放送事業者（オペレータ）とユーザーの携帯端末間で統一のユーザー認証のしくみを構築する提案文書である。

SWG議長より、上記 6A/220 と同じ新レポートに入力する予定であるのかとの質問があり、中国はその予定であると返答した。イスラエルより、新レポートを作成して議長レポートに添付するのは賛成であるとコメントがあった。

SWGで、中国が作成した 6A/220 と 6A/222 をマージした新レポート草案 ITU-R BT.[WBP]に向けた作業文書を審議した。イスラエルは、新レポートのタイトルについて、TelevisionとSoundを追加することを提案し合意された。ドイツは、同じタイトルにTerrestrialを入れてはどうかと提案したが、SWG議長が、まだ作業文書の段階であり、修正は次回のWP6A会合で議論するとして、本件の議論を終了した。

新レポート草案に向けた作業文書(6A/TEMP/87)として議長レポートに添付することに合意した。

・グローバルプラットフォームに関するリエゾン文書

入力文書：6A/166 (WP6B)、6A/176 (WP5A)

出力文書：なし

審議結果：

6A/166 は、WP6Bからの、研究課題 140/6「放送サービスのグローバルプラットフォーム」に関する検討状況の周知、およびグローバルプラットフォームの要件などを記載した新レポート草案と、技術要素を記載した新レポート草案に向けた作業文書が添付されたリエゾン文書である。特段の異論なくNotedされた。

6A/176 は、WP5Aからの、上記 6A/166 のリエゾン文書に対するWP5Dからのリエゾン返書である。特段の異論なくNotedされた。

3.2 保護(SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、入力文書をWPT(Wireless Power Transfer)、PLT(Power Line Telecommunication)、RFハザードの3つに分けて審議した。WPT関連のDG(DG 6A-2-1)を設置し、議長はJ. Shaw氏(BBC)とした。3回のSWG会合で17件の入力文書を審議し、2件のTEMP文書(リエゾン文書)を出力した。また、RFハザードのRG、およびWPTとPLTに関するラポータは継続することとした。

OWPT(Wireless Power Transfer : ワイヤレス電力伝送)

- ・ WP5CからWP1Aへのリエゾン返書 (WP6Aはコピー送付)

入力文書 : 6A/172 (WP5C)

出力文書 : なし

審議結果 :

無線ビーム以外の技術を用いるWPTの最新研究状況に関するWP5CからWP1Aへのリエゾン文書であり、WP6Aにはコピー送付である。

特段の異論なくNotedされた。

- ・ WP1AからWP6Aへのリエゾン返書

入力文書 : 6A/185 (WP1A)

出力文書 : なし

審議結果 :

WP6Aからのリエゾン文書で示された懸念を検討し、新勧告草案ITU-R SM.[WPT]の記載内容を修正したことを知らせるWP1AからWP6Aに対するリエゾン返書である。

特段の異論なくNotedされた。

- ・ WP1BからWP1B, 5B, 6Aへのリエゾン文書

入力文書 : 6A/187 (WP1B)

出力文書 : なし

審議結果 :

WP1BからWP6Aに対して、WRC-19 議題 9.1 課題 9.1.6 関係の最近の活動を知らせるリエゾン文書である。

EBUは、添付されている新レポートITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM](1B/123 An3)の5章にimpact of WPT applications と記載されているが、“WPT applications”とは何を指しているのか質問した。DG議長は、WPTがISMのアプリケーションであればRadio Regulationに示してあるが、それ以外の場合は、不明であるとコメントした。EBUは、新レポート案のタイトルは“WRC-19 議題に関する”となっているが、我々としてはそれ以外のWPTからの影響にも

注意しなくてはならないと付け加えた。SWG議長は、EBUの懸念に理解を示しつつ、この件はNo actionとすることを提案しNotedされた。

- ・ WP1BからWP6Aへのリエゾン文書

入力文書：6A/188 (WP1B)

出力文書：なし

審議結果：

WPT関係の作業計画とCPMテキスト案に向けた作業文書を更新したことを知らせるWP1BからWP6Aへのリエゾン返書である。

特段の異論なくNotedされた。

- ・ WPTに関するラポータからの報告

入力文書：6A/226 (Rapp on WPT)

出力文書：6A/TEMP/71 (LS送付)、6A/TEMP/72 (LS送付)

審議結果：

ラポータであるShaw氏（BBC）より、電気自動車（EV）用WPTに関するITUや標準化団体での動向について、WPTに関するラポータがまとめた報告書であり、ITUにおける動向としてWP1AとWP1Bの活動状況が説明された。

EBUは、私的な理解であると前置きした上で、ヨーロッパであればETSIなどの標準規格を守るようにメーカーはデバイスを製作し、CISPR（国際無線障害特別委員会）等とうまく連携してスペクトルマネジメントを行っているが、他の地域や国はどうなっているのかと質問した。SWG議長は、ケースによると思うと返答した。

本ラポータからの情報は、2件のリエゾン文書の作成に活用した。

- ・ 中波放送への影響を検討するよう求めるWP1A, 1Bへのリエゾン文書

入力文書：6A/162 (WP7D)、6A/186 (WP1A)、6A/189 (WP1B)、6A/235 (BBC)

出力文書：6A/TEMP/71 (LS送付)

審議結果：

6A/162 は、WP1Aが作成している新勧告草案ITU-R SM.[WPT]に対して Recommends1 の修正を提案するWP7DからWP1Aへの、リエゾン文書（WP6Aにはコピー送付）である。

6A/186 は、上記 6A/162 に対するWP1AからWP7Dへの、Recommends1 を修正したことを知らせるリエゾン返書（WP6Aにはコピー送付）である。

6A/189 は、WP1BからWP6Aへの決議 958（WRC-15）に基づいてWRC-19 議題 9.1 の課題 9.1.6 と、研究課題ITU-R 210-3/1 に応えるためにWPT関連の

研究を継続したことを知らせるリエゾン文書である。またBBCより、WPTで使用する4つの周波数帯（19-21 kHz, 59-61 kHz, 79-90 kHz, 100-300 kHz）が記載されていると付け加えられた。

SWG議長は、100-300 kHzが放送業務に影響を与える周波数が確認したところ、EBUは、100-300 kHzも重要だが、79-90 kHzは電気自動車の充電用なので電力が大きく、第7次高調波が中波に影響する可能性があるため、より重要であるとコメントした。

6A/235 は、BBCからのWPT装置からの干渉を考慮したLF/MF帯の放送サービスのプランニング検討に関する、WP1AおよびWP1Bへのリエゾン文書の提案である。SWG議長は、Annexにリエゾン文書案が書かれており、GE75 に関しても記載されていると補足した。

EBUは、CISPRやITUの情報を提供するとともに、今後も連携していきたい旨を記載したリエゾン文書を作成してはどうかと提案した。SWG議長は、リエゾン文書の内容と送付先をDGで検討するよう指示した。

DGでは、WP1Aで改訂を検討しているレポートITU-R SM.2303「無線周波数ビーム以外の技術によるワイヤレス電力伝送」について、中波放送への影響を十分に検討するように求めるリエゾン文書案を作成した。

SWGで、DG議長のShaw氏（BBC）は、レポートITU-R SM.2303 はWPTの標準化動向や関連技術などの情報をまとめているが、他の無線業務との保護基準などは含まれていないため、このリエゾン文書では保護基準の検討に必要な情報を提供していると説明した。また、Annex 1 はBBCの寄書を基にしたもの、Annex 2、3 はGE75 関連の情報であり、レポートITU-R SM.2303 への追加を求めるものではなく、WP1A、1Bの参考情報として送付するものであるとコメントした。

イスラエルが、オーストラリアでは1GHz帯の周波数をWPTで使用していることも本リエゾン文書に含めるべきではと質問したところ、SWG議長は、このリエゾン文書はWPTから中波放送への影響を懸念するものであり、1GHzなどの高い周波数は対象外であると回答した。また、イスラエルは、Annex 3 はGE75 からの抜粋だが、ヨーロッパのチャンネルラスタ（周波数間隔）の値しか記載されておらず、他の地域の値も記載すべきだと主張した。日本より、Region 3 の値は9kHzであると回答し、Annex3 に反映されることとなった。

審議の結果、本リエゾン文書(6A/TEMP/71)の送付に合意した。

・ WP1A, 1B, CISPRへのリエゾン文書

入力文書：6A/178 (WP5B)、6A/184 (WP1A)

出力文書：6A/TEMP/72 (LS送付)

審議結果：

6A/178 は、WP 5BからWP 1Aへの3つの質問（①WPTの放射特性は、ITU-Rの勧告もしくはレポートで定義されるのか、それとも製品依存となるのか ②干渉緩和対策のさらなる詳細な説明は可能か、また、その内容はITU-R SG1にて明確にされるのか ③スタンバイ状態でも、電力放射は継続されるのか）が記載されたリエゾン文書（WP6Aへはコピー送付）である。

6A/184 は、WP5Bからの3つの質問に対するWP1Aからのリエゾン返書（WP6Aにはコピー送付）である。WP5Bの質問に対してWP1Aは、①放射特性は標準化団体によって定義されることを期待しているが、WP1Aが放射特性を定義することも適当である、②混信緩和策の実現方法は個別企業の考え方によるが、ITU-Rは規格や規制の適切な参照情報を提供すべきである、③異なるWPTシステムでは、異なるデザインの待機モードで導入される可能性があり、待機モード中の送信機が、WPT受信機を探す際の送信電力は通常時よりも小さくすることが可能である。と返答している。

SWG議長は、WP6Aからもコメントをした方が良いのではないかと提案したため、DG議長がリエゾン文書案を作成しDGでドラフティング作業を行った。リエゾン文書案は、3つの質問、回答に対し1つずつコメントしており、SWGでタイトル等の修正を行った後、リエゾン文書(6A/TEMP/72)の送付に合意した。

OPLT(Power Line Telecommunication：電力線通信)

- ・ WP1AからWP 1C, 3L, 5A, 5B, 5C, 6A, 7A, 7Dへのリエゾン文書

入力文書：6A/181(WP1A)

出力文書：なし

審議結果：

非無線通信機器が発生する不要エネルギーによる無線通信サービスへの影響評価に関連して、環境中のRFノイズレベルと、増大する多様な放射性ノイズ源についてさらなる検討を開始したことを周知する、WP 1Aからのリエゾン文書である。

SWG議長が、リエゾン返書は必要かと質問したところ、LS Telcomより、VHFのノイズは年々多くなっており、状況を説明するリエゾン返書を送付してはどうかと提案があり、BBCもリエゾン返書の提案を支持した。英国が過去のノイズに関する文書の情報をWPTのDG議長に提供することとなり、WP1A, 1B, CISPRへのリエゾン文書(6A/TEMP/72)のコメントに反映された。

- ・ PLTシステムと一般的なEMC関連の干渉についての最新動向の報告

入力文書：6A/228 (PLTに関するラポータ)

出力文書：なし

審議結果：

PLTと一般的なEMC関連の干渉に関するラポータから、前会合以降のCENELECにおけるPLT機器の規格化動向や、自然環境におけるRFノイズレベルに関する動向を報告する文書である。

イスラエルより、WPTとPLTのRGを一つのラポータにまとめてはどうかとの提案があったが、英国より、WPTはWRC-19 議題であるため個別のラポータとするべきであると意見し、従来どおりWPTとPLTで別々のラポータを存続することになった。

特段の異論なくNotedとなった。

ORFハザード

- ・ ITU-D SG2 からITU-T SG5, ITU-R SG2, SG5, SG6 へのリエゾン文書

入力文書：6A/158 (ITU-D SG2)

出力文書：なし

審議結果：

ITU-D研究課題 7/2 (電磁場の人体ばく露に関する戦略及び制作) に関する情報提供を求める、ITU-D SG2 からのリエゾン文書である。2016年10月の前会合期間中に入力されたため、前会合では十分に審議することができていなかった。

SWG議長はリエゾン返書の必要性について質問したところ、イスラエルは、すでに時間が経過しているため、返信の必要はないと回答した。

特段の異論なくNotedとなった。

- ・ WP5CからITU-D SG2 へのリエゾン返書 (WP6Aはコピー送付)

入力文書：6A/168(WP5C)

出力文書：なし

審議結果：

前会合でITU-D SG2 から送付されたITU-D研究課題 7/2「電磁場の人体ばく露に関する戦略および政策」に関するリエゾン文書(5C/117, 6A/158)に対する返書である。

特段の異論なくNotedとなった。

- ・ WP5AからITU-D SG2 へのリエゾン返書 (WP6Aはコピー送付)

入力文書：6A/173 (WP5A)

出力文書：なし

審議結果：

前会合でITU-D SG2 から送付されたITU-D研究課題 7/2「電磁場の人体ばく露に関する戦略および政策」に関するリエゾン文書(6A/158)に対する返書である。

特段の異論なくNotedとなった。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では、17 件の入力文書を審議した。3 回のSWG会合で、7 件のTEMP文書を承認し、レポート改訂案 1 件、リエゾン文書案 3 件を作成した。

また、CPM19-1 でWP6Aが関連グループとして指定されたWRC-19 議題を検討するためのRGを設置した。

○レポートITU-R BT.2337 改訂関連

- ・ レポートITU-R BT.2337「470-694/698MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動アプリケーションとの共用と両立性に関する検討」改訂案

入力文書：なし

出力文書：6A/TEMP/81 (SG6 送付)、6A/TEMP/84 (SG6 送付)

審議結果：

2015年8月にSG6からSG5およびWP5Dにリエゾン文書を送付して以来、レポートITU-R BT.2337「470-694/698MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動アプリケーションとの共用検討」の改訂案に関して、WP6AとWP5Dの間で改訂に向けた具体的な協議ができていない状態が続いている。

英国は、このままWP5Dから返答を待つか、もう一度リエゾン文書を送付するかしか対処方法はないとコメントし、米国もこれに同意した。一方、イランは、この改訂は将来的に役立つものであるため、実現できるよう努力するべきだとした。それに対してBBCは、SG6に上程して承認を得てから、再度SG5へリエゾン文書を送る方法もあると述べた。

議論の結果、レポートの改訂案とそれに伴うリエゾン文書をSG5およびWP5Dに再度送付することになり、DGでレポート改訂案とリエゾン文書案を作成した。イランは、すでに長期間WP5Dから返信がきておらず、SG5次会合が開催される2017年11月以降も返信がなかった場合は、賛成であるとみなしてよいのではないかと主張したが、SWG議長は、本件を前進させるために建設的な策をとるべきであり、6月のWP5D会合でも返信がなかった場合は、2017年10月の次回WP6A会合で再度検討しようと呼び、英国も賛意を示した。

レポート改訂案(6A/TEMP/84)とリエゾン文書案(6A/TEMP/81)の内容に合意

し、SG6 へ送付した。

- ・新レポートITU-R BT.[UHFUSE] に向けた作業文書

入力文書:なし

出力文書:6A/TEMP/79 (議長レポート添付)

審議結果:

2016年10月の前会合でインドネシアがWP6Aに対して、地上デジタル放送への移行についてアドバイスを求めている。SWG議長は、BRが中米・カリブ海地域での地デジ移行をサポートしているように、地デジ移行を検討している国の役に立つような新しいレポートを作成したいとコメントし、新レポートの作業文書案を示した。作業文書案は、関連テキストの最新のタイトルや概要、各国のケーススタディから構成される。

イランは、SG6のウェブサイトに関連テキストの一覧は確認することができ、関連情報を網羅したレポートはすでに存在すると消極的な姿勢を示したが、EBUは、ヨーロッパも各国のやり方で地デジ移行を進めており、ケーススタディは他の国にも役立つとコメントした。その他の反対意見は出ず新レポート草案に向けた作業文書(6A/TEMP/79)として議長レポート添付とし、審議継続とすることで合意した。

OWRC-19 議題関連

- ・CPM19-1 指定課題に向けた作業計画とRGの提案

入力文書:6A/206 (Free TV Australia)

出力文書:6A/TEMP/78 (議長レポート添付)

審議結果:

CPM19-1でWP6Aが関連グループとして指定されたWRC-19議題を検討するためのRG設置の提案である。

WRC-19議題のうち、課題9.1.6(WPT)については既にラポータが存在するが、本RGで全体を把握できるようにするため、ToRに課題9.1.6を含めることとなった。

RG設置のためのToR(6A/TEMP/78)を作成し、議長レポート添付とすることに合意した。

- ・WRC-19 決議および勧告に関する研究の作業計画

入力文書:なし

出力文書:6A/TEMP/83 (議長レポート添付)

審議結果:

2016年10月の前会合でSWG-3が作成した、WRC-19に向けた作業計画である。WRC-19議題を検討するRGと同様に課題9.1.6を扱うこととし、作業計画(6A/TEMP/83)を議長レポート添付とすることに合意した。

- ・ 勧告 ITU-R SM.851 の改訂とWRC-19 議題 1.1 に関するWP5CからWP1A、5Aへのリエゾン返書

入力文書:6A/169 (WP5C)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.1 「50－54MHz帯におけるアマチュア業務への周波数分配（第一地域）」の共用検討のための、勧告ITU-R SM.851 「VHF/UHF帯における放送業務と固定・移動業務の共用」の改訂に関する、WP5CからWP1Aへのリエゾン返書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ WRC-19 議題 1.1 に関するWP5AからWP 6Aへのリエゾン文書

入力文書:6A/174 (WP5A)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.1 「50－54MHz帯におけるアマチュア業務への周波数分配（第一地域）」に関して、WP 5AからWP 6Aへ送付されたりエゾン文書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ 40-50 MHz帯で運用するシステムの技術特性および運用特性に関するWP5AからWP7Cへのリエゾン返書

入力文書:6A/175 (WP5A)

出力文書:なし

審議結果:

40-50 MHz帯で運用するシステムの技術特性、運用特性に関する、WP5AからWP7Cへのリエゾン返書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ WRC-19 議題 1.6、9.1、9.1.9 に関するWP7DからWP4Aへのリエゾン文書

入力文書:6A/163 (WP7D)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.6、および議題 9.1 の課題 9.1.9 に関して、WP7DからWP4Aへ送付されたリエゾン文書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ WRC-19 議題 1.7 に関するWP4A,4C,5A,5B,5C,5D,6Aへのリエゾン返書

入力文書:6A/164 (WP7B)、6A/227 (Free TV Australia)

出力文書:6A/TEMP/80 (LS送付)

審議結果:

WRC-19 議題 1.7 「短期ミッション非静止軌道衛星による宇宙運用業務のための周波数ニーズの検討」に関するWP 7BからWP4A,4C,5A,5B,5C,5D,および6Aへのリエゾン返書である。

WP7Bが作成中の新レポートITU-R SA.[SHORT DURATION NGSO – CHARACTERISTICS]「短期ミッションの非静止軌道衛星の特性」に対して、既存業務の保護を求め、今後協力して共用検討を進めていくことを呼びかけるリエゾン文書(6A/TEMP/80)の送付に合意した。

- ・ WRC-19 議題 1.9.2 における固定業務の技術特性に関するWP5CからWP5Bへのリエゾン文書

入力文書:6A/170 (WP5C)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.9.2 「海上移動衛星業務への 156.0125–157.4375MHz帯及び 160.6125–162.0375MHz帯における新規周波数分配の検討」に向け、当該周波数帯における固定業務の技術特性情報を伝えるためのWP5CからWP5Bへのリエゾン返書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ WRC-19 議題 1.13 への準備に関するWP5AからTG 5/1 へのリエゾン文書

入力文書:6A/177 (WP5A)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.13 「将来のIMTの発展のためのIMT用周波数特定の検討」に関して、WP 5AからTG 5/1 へのリエゾン文書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

○勧告ITU-R SM.1009 改訂関連

- ・ 新レポート草案ITU-R SM.[NAT-APR]、勧告ITU-R SM.1009-1 の改訂提案に関するWP 1Aへのリエゾン返書
 - 入力文書:6A/183 (WP1A)、6A/214 (BBC)、6A/229 (ドイツ)
 - 出力文書:6A/TEMP/82 (LS送付)
 - 審議結果:
 - 新レポート草案ITU-R SM.[NAT-APR]「87-108MHz帯の音声放送サービスと108-137MHz帯の航空サービスの互換性評価に関する各国のアプローチと経験」に関する、WP1Aへのリエゾン返書案である。
 - 新レポート作成のための情報収集を支持し、継続的な協力を求めるリエゾン文書(6A/TEMP/82)を作成し、送付に合意した。

- ・ 勧告 ITU-R SM.1009-1 の改訂提案に関するWP5BからWP1Aへのリエゾン文書
 - 入力文書:6A/167 (WP5B)
 - 出力文書:なし
 - 審議結果:
 - 勧告 ITU-R SM.1009-1「87-108 MHzにおける音声放送業務と 108-137 MHzにおける航空業務の両立性」の改訂提案に関する、WP5BからWP 1Aへのリエゾン返書である。
 - 特段の意見なく、Notedとなった。

○その他

- ・ 新レポート草案ITU-R SM.[SHARING-METHOD]に向けた作業文書に関するWP1AからWP1B, 4A, 4C, 5A, 5D, 6A, 7B, 7C, 7Dへのリエゾン文書
 - 入力文書:6A/182 (WP1A)
 - 出力文書:なし
 - 審議結果:
 - 2016年11月の会合で新レポート草案ITU-R SM[SHARING-METHODS]に向けた作業文書の作成を開始したことを周知する、WP 1Aからのリエゾン文書である。
 - 特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ 新レポート草案 ITU-R SM. [CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] に向けた作業文書に関するWP1BからWP 1A, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, ITU-D/ITU-R Joint Groupおよび WTDC 決議 9 へのリエゾン文書
 - 入力文書:6A/191 (WP1B)、6A/196 (WP5D)
 - 出力文書:なし

審議結果：

新レポート草案 ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES]「Cognitive capabilitiesを採用した無線システムによる動的な周波数利用に関する周波数管理の原則、課題」に向けた作業文書に関して、WP 1Bから関連WPへ送付されたリエゾン文書およびそれに対するWP5Dからのリエゾン返書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ 勧告ITU-R F.699-7 の改訂に関するWP5CからWP1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C, 7Dへのリエゾン文書

入力文書:6A/171 (WP5C)

出力文書:なし

審議結果：

勧告ITU-R F.699-7「100MHzから 70GHz帯で共用検討および干渉評価に用いる固定無線業務用アンテナの基準放射パターン」の改訂を知らせる、WP5Cからのリエゾン文書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG6A-4 では、4 回のSWG会合で 20 件の入力文書を審議した。勧告改訂草案 1 件、レポート改訂案 1 件、レポート改訂草案 2 件、レポート廃止提案 1 件、研究課題改訂草案 1 件、リエゾン文書案 2 件（内 1 件はリエゾン文書草案）の計 8 件の TEMP文書を作成した。

○勧告ITU-R BT.1871 改訂関連

- ・ 勧告ITU-R BT.1871 「ワイヤレスマイクのユーザー要求」の改訂草案

入力文書:6A/161 Annex 5(前回議長レポート添付)、6A/213 (米国)

出力文書:6A/TEMP/64 (議長レポート添付)

審議結果：

2016 年 10 月の前会合にて、勧告ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求」に対して、オーストラリアと米国から、自国のワイヤレスマイク周波数帯を反映する改訂が提案され、継続審議のため議長レポート添付となっていた。

今回の改訂提案にあわせて、ドイツが、自国の情報が古くなっている可能性がある（2015 年末に期限切れと注釈あり）として 10 月の次会合で更新するこ

ととなった。また、カナダも改訂を提案する予定であるとコメントした。

オーストラリアと米国の改訂内容を反映した勧告改訂草案(6A/TEMP/64)を議長レポート添付とすることに合意した。

○レポートITU-R BT.2069 改訂関連

- ・ レポート ITU-R BT.2069-6 「ENG, TVOB, FEPの調和周波数と運用特性」改訂草案

入力文書:6A/161 Annex 6(前回議長レポート添付)、6A/211 (米国)

出力文書:6A/TEMP/73 (議長レポート添付)

審議結果:

2016年10月の前会合にて、米国が自国のSAB/SAP用システムの運用状況を追記する提案を行い、この変更による影響を各国の機関が確認できるよう議長レポート添付となっていた。

本会合で米国は周波数オークションの結果を反映するために新たな改訂提案を行った。米国は、前会合から議長レポートに添付されてきたので今会合では改訂草案として欲しいと要望したが、オーストラリアは、本レポートにおいて各国共通の一般的な情報と各国固有の情報が整理されておらず、レポート全体の構成を見直すべきであると指摘した。修正を行うかどうか、修正を行う場合はどのように行うかを2017年10月の次会合で検討することとし、レポート改訂草案(6A/TEMP/73)として、議長レポート添付とすることに合意した。

○レポートITU-R BT.2299 改訂関連

- ・ レポートITU-R BT.2299 「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」改訂案

入力文書:6A/161 Annex 8(前回議長レポート添付)、6A/217 (日本)

出力文書:6A/TEMP/66 (SG6 送付)

審議結果:

2016年10月の前会合にて、レポートITU-R BT.2299 「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」に対して、NABA (North American Broadcasters Association) がスマートフォンのFM受信機能に関する改訂を提案し、継続審議のため改訂草案に向けた作業文書として議長レポート添付となっていた。

本会合では、日本が災害時における放送継続のための取り組み事例として、非常用送信車の情報を追加した。イランは、日本の提案が急を要する改訂でなければ作業文書となるのではないかとコメントしたが、BBCは、日本の提案は有益であり自国のケーススタディなので、米国の修正案とともに改訂案とし

て扱うのが良いと主張した。

日本とNABAの改訂提案を反映し、レポート改訂案(6A/TEMP/66)としてSG6へ送付することに合意した。

○レポートITU-R BT.2344 改訂関連

- ・レポート ITU-R BT.2344-0「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」改訂に向けた作業文書

入力文書:6A/161 Annex 11(前回議長レポート添付)、6A/212 (米国)、6A/216 (日本)

出力文書:6A/TEMP/65 (議長レポート添付)

審議結果:

2016年10月の前会合にて、米国が自国におけるワイヤレスマイクの周波数利用状況を追加する提案を行い、継続審議のため改訂草案に向けた作業文書として議長レポート添付となっていた。

今会合では、日本が42GHz帯（ミリ波）を用いた8K UHDTV素材伝送用FPUの実験結果の追加を、米国が周波数オークションの結果を追加する提案をした。英国は、WRC-19 議題 1.13「将来のIMTの開発のためのIMT用周波数特定の検討」のためにWP5Dへリエゾン送付してはどうかとコメントした。これに対し日本は、同システムのパラメータは現在WP5C所掌の勧告に入力中で、WP5CからTG-5/1へリエゾン文書を送付する予定であることを回答した。

審議の結果、レポート改訂草案(6A/TEMP/65)として、議長レポート添付とすることに合意した。

○用語の定義関連

- ・放送における”pixel”の定義について

入力文書:6A/223 (イタリア、パチカン)、6A/240 (WP6C)

出力文書:6A/TEMP/74Rev1(議長レポート添付)、6A/TEMP/90 (SG6 送付)

審議結果:

放送のカバレッジエリアの最小単位を表す”pixel”（WP6A所掌）と画素を表す”pixel”（WP6C所掌）について、それぞれの用語の定義を検討するものである。

WP6Cの検討結果がWP6Aにリエゾン文書で送付されたため、WP6Aで2つの用語の定義を整理し、SG6 経由でCCVにリエゾン送付することを目指して審議を行ったが、カバレッジエリアの最小単位を表す”pixel”については結論が出なかった。そのため、WP6A所掌の”pixel”については2017年10月の次会合まで議論を継続するため用語の定義案(6A/TEMP/74Rev1)を議長レポート添付

とし、WP6C所掌の“pixel”についてはリエゾン文書案(6A/TEMP/90) としてSG6 への送付に合意した。

- ・ “broadband” の定義について

入力文書: 6A/165 (WP4A)、6A/179 (WP5A, 5C) 、6A/193 (CCV, SCV)、
6A/197 (WP5D)

出力文書: なし

審議結果:

研究課題 2/1 「IMTを含む開発途上国のためのブロードバンドアクセス技術」
において “broadband” の定義を検討するリエゾン文書である。

WP6Aにはコピー送付であるため、特段の異論なくNotedとなった。

○レポートの廃止関連

- ・ 廃止見込みのBTシリーズレポート

入力文書: 6A/161 Annex 1 (前回議長レポート添付)、6A/209 (CBS)

出力文書: 6A/TEMP/68 (SG6 送付)

審議結果:

2016 年 10 月の前会合にて、内容の古くなったITU-R BTシリーズのレポートの廃止が提案され、議長レポート添付となっていた。

BBCは、ヨーロッパの一部の地域でアナログ放送が続いており “insertion reference signals” を使用している放送局があるため、レポートITU-R BT.628 は廃止すべきでないと主張した。

レポート	題名	発行	結果
BT.628-4	Automatic monitoring and control of television operation	1990	存続
BT.802-3	Additional services using broadcasting channels	1990	廃止
BT.804-0	Definitions of parameters for automatic measurement of television insertion test signals	1978	廃止

特に異論がなかったため、レポートITU-R BT.628 は存続させ、他 2 件の廃止提案(6A/TEMP/68)としてSG6 への送付に合意した。

○研究課題の見直し関連

- ・ SG6 研究課題の見直し

入力文書: 6A/218 (日本)

出力文書: 6A/TEMP/67 (議長レポート添付)

審議結果：

2016年10月の前会合でSG6議長より指摘があったSG6の研究課題の見直しに関する改訂案である。

日本より、SG6の研究課題を各WPの所掌に即した内容に見直すための寄書であることを紹介した。CBSやロシアより、SFNやFM多重を考慮した場合、安易に“multiplex”という用語を削除することはできないとの指摘があり、オフラインディスカッションで文言の修正を行った。

2017年10月の次会合で更なる議論を行うため、修正後の研究課題改訂草案(6A/TEMP/67)として、議長レポート添付とすることに合意した。

○その他

- ・ ITU-D SG2 (研究課題 9/2 ラポータ) からITU-TおよびITU-Rの各SGへ相互協力を求めるリエゾン文書

入力文書:6A/159 (ITU-D SG2 研究課題 9/2 ラポータ)

出力文書:なし

審議結果：

ITU-D SG2 研究課題 9/2「発展途上国の関心が高いITU-TおよびITU-Rの研究課題の選定」ラポータからITU-TおよびITU-Rの各SGへ向けた、相互協力についてのリエゾン文書である。

特段の異論なく、Notedとなった。

- ・ ITU用語データベースへの放送用語の追加提案に関するWP1BからSG6 へのリエゾン返書

入力文書:6A/190 (WP1B)

出力文書:なし

審議結果：

SG6 からCCVおよびSCVに対して送付したリエゾン文書に対するWP1Bからの返信であり、放送用語(Digital switchover、Digital dividend、Digital divide)をITU用語データベースへ追加するよう、CCVおよびSCVへ要望することに賛成する内容。

特段の異論なく、Notedとなった。

3.5 音声(SWG 6A-5)

SWG6A-5では、3回のSWG会合で12件の入力文書を審議し、3件のTEMP文書を出力した。新勧告案1件、新オピニオン案1件の計2件をSG6へ送付、レポート改訂草案1件を議長レポート添付とした。マルチプレクス電力に関する

RG(議長：E.Stephane氏(フランス))は終了した。

○デジタル音声放送システム

- ・新勧告案ITU-R BS.[IRDR]「短波による緊急放送のための国際災害救援放送周波数の利用」

入力文書：6A/161 Annex 2 (前回議長レポート添付)、6A/200 (HFCC)

出力文書：6A/TEMP/59 (SG6 送付)

審議結果：

2016年10月の前会合にて、HFCC（短波周波数調整会議）より、国際災害救援放送（IRDR: International Radio for Disaster Relief）周波数としてリザーブすべき短波放送用周波数（7,400～26,010kHz）の提案があり、継続審議のため新勧告草案として議長レポートに添付されていた。

今会合で、HFCCより、上記6A/161(Annex 02)の中でTBDとなっていた6MHz帯、19MHz帯における使用可能な周波数と時間帯を修正した提案があった。BBCは新勧告草案から新勧告案としSG6への上程を提案し、WP6A議長は、新勧告草案で議長レポートになっていたため、新勧告案としてSG6へ上程することは可能だとコメントした。

イスラエルより、タイトルの“short wave”という用語は無線通信規則で定義されていないため、“High Frequency (HF)”を用いるべきであると指摘があった。イランより、どちらの用語を使用するかは研究課題次第であるとコメントがあり、当該研究課題を確認したが、周波数帯域に関する記載は含まれなかったため、WP6A議長が“High Frequency (HF)”への変更を提案し、これに合意した。その他、WRC-15 決議に番号の記載がないことや、タイトルをITU-R BS.[IRDR]とすべきなどの指摘を修正した上で、新勧告案(6A/TEMP/59)としてSG6へ送付した。

- ・勧告改訂草案ITU-R BS.1114-9「30-3000MHz帯の車載、ポータブル、固定受信機向けの地上デジタル音声放送システム」

入力文書：6A/161 Annex 3 (前回議長レポート添付)、6A/210 (米国)、6A/221 (中国)

出力文書：なし

審議結果：

2016年10月の前会合にて、中国より、自国のデジタル音声放送方式であるCDR (Convergent Digital Radio)をDigital System Hとして追加する提案と、EBUより、EN 300 401に記載されているDigital System A (DAB)の規格と整合性を取るため、最新版のEN 300 401を本勧告に反映させる提案があり、2つ

の提案をマージした勧告改訂草案を議長レポート添付としていた。

今会合で、中国(6A/221)より、国内でのデジタル音声放送CDRの展開状況について報告する文書が入力され、単なる情報であるとコメントが付け加えられた。BBCより、563箇所ある送信機の使用周波数帯などについて質問があり、これに対し中国は、使用周波数帯はFM帯であり、現行のFM放送機を置き換えていると返答した。

米国(6A/210)より、中国の音声放送CDR (Digital System H) の技術仕様に関して、①隣接チャンネル保護、②放射マスクの実現性、③システム受信特性の3つの懸念を示した上で、更なる情報を求める入力文書があった。

中国は、米国からの3つの質問事項に対して、以下のように返答した。

① デジタル対デジタルやアナログ対デジタルなどいろいろなケースの混信保護比を実験で確認している。

② マスクの形はシミュレーションで検討した結果である。実際には10箇所の工場で作成しており、多少の特性差はあるものの記載しているマスクは厳守している。

③ BER特性はBERが 10^{-4} となるC/Nを確認している。テスト受信機を用いた野外実験では、室内実験と同様の結果が得られている。

中国の返答に対し、米国は、新しいシステムなので特性なども正式に文書化した方がいいのではないかとコメントし、ブラジルもこれに賛同した。中国は、米国の意見はもっともであるとし、次会合までに野外実験を実施し、結果を入力すると返答した。

・ レポート改訂草案ITU-R BT.2383「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにおける地上デジタルテレビジョン放送の特性」

入力文書：6A/233 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/88 (議長レポート添付)※SWG1 から出力

審議結果：

EBUより、地上デジタル音声放送用の周波数共用および干渉評価のためのレポートが存在しないため、レポートITU-R BT.2383「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにおける地上デジタルテレビジョン放送の特性」に対して、①レポートのタイトルの変更、②シリーズの変更（BT/BSシリーズ）、③DTSB (T-DAB) のシステムパラメータを追加する提案があった。また、EBUは、詳細を確認してもらうため、次会合まで議長レポートに添付して、継続審議することを提案した。

フランスは、本レポートに情報が入力されることには賛成したが、タイトルから周波数が削除されることには反対し、テレビ放送と音声放送の両方の周波

数をタイトルに明記することを提案し、EBUもフランスの意見に同意した。

日本は、タイトルからTelevisionという単語を削除することへの懸念や、新たなレポートを作成しないことへの疑問を質問し、イスラエルは、日本の意見に賛同した上で、テレビのレポートであるBTシリーズと音声放送のレポートであるBSシリーズをなぜ1つのレポートにするのかと質問した。また、ミスリードにならないよう、シンプルに別々のレポートを作成すべきだと提案した。これに対し、EBUは、1つの文書にしておいた方が見る人にとって便利であると主張し、NDRは同一の内容でBT/BSシリーズにすれば、両方のWebサイトに記載されるためミスリードにならないとコメントした。イスラエルがJTG4-5-6-7の承認を得たレポートであるため、改訂した際も再度SG5に確認する必要があるのかと質問したところ、EBUは、その必要はないと答えた。SWG議長は、1つの文書にするか、別の文書にするか関係者で集まってオフラインで議論することを提案した。その結果、本レポートは改訂せず、Band IIIの周波数帯を使用するテレビ放送および音声放送の新レポートを作成することとなった。EBUからの提案により、今会合中に簡単なTEMP文書を作成して議長レポート添付とし、2017年10月の次会合での議論につなげることとなった。テレビ放送に関係する案件となったため、SWG6A-5での議論はここまでとし、以降のTEMP文書に関する議論はSWG6A-1ですることとなった。

○マルチプレクス電力

・マルチプレクス電力に関するRGからの活動報告

入力文書：6A/236 (RG11)

出力文書：6A/TEMP/60 (議長レポート添付)

審議結果：

RG議長のEkomoie氏（フランス）より、RG11のこれまでの活動の報告があり、あわせて、RG活動を終了する提案があった。

ドイツより、Attachmentに付いているレポートITU-R BS.2213「VHF帯のFM音声放送における音声信号処理と音声圧縮に関する影響」のAnnex4の改訂についてはどうするのかと質問があった。SWG議長はフランスに意向を確認したところ、フランスはBS.2213の改訂として文書を作ることは可能であると返答した。WP6A議長より、BS.2213の改訂案としてTEMP文書を作成し、議長レポート添付にするよう提案があり、特段の異論なく合意した。

フランスより、作成したTEMP文書について、Annex4は、以前入力されたドイツとフランスの2つの測定キャンペーン手法に関する寄書から構成されており、ドイツに再度確認してもらいたい時間を設けたいことと、関係する主管庁にも確認してもらいたいことから、レポート改訂草案として議長レポートに添付

することを希望した。ドイツ、英国がこの意見に賛成し、レポート改訂草案(6A/TEMP/60)として議長レポート添付に合意した。また、RGの活動は終了した。

○新オピニオン

- ・ SG6 の新オピニオン案「スマートフォン、タブレットにおけるラジオ受信機能の有効化」

入力文書：6A/161 Annex 12 (前回議長レポート添付)、6A/199 (ABU)、6A/201 (NABA)、6A/203 (WBU-TC)、6A/231 (ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ)

出力文書：6A/TEMP/61 (SG6 送付)

審議結果：

2016 年 10 月の前会合で、NABA (North America Broadcasters Association: 北米放送連盟) から「スマートフォンへのラジオ受信機能の有効化を推進する」という新オピニオンの提案があり、新オピニオン草案として議長レポートに添付されていた。

今会合で、ABU(Asia-Pacific Broadcasting Union: アジア太平洋放送連合) (6A/199)とWBU-TC(World Broadcasting Unions – Technical Committee: 世界放送連合 技術委員会) (6A/203)より、NABAの新オピニオンを支持する入力文書と、NABA(6A/201)より、本提案を新オピニオン案としてSG6 へ送付する提案があった。

また、ブラジル(6A/231)より、新オピニオン案を支持するが、南米の複数国がVHF帯の一部をFMラジオとして使用しているため、FMラジオの受信周波数帯を 76-108 MHzに修正する提案があった。これに対し、イスラエルは、WP6Aの所掌であるFM放送についてケアすべきで、ブラジルの意見をサポートするとコメントした。一方で、ドイツは、FM帯の共用やアナログFM放送の話ではなく、オピニオンはFM受信機能を搭載したモバイル端末やタブレットを対象としたものであるとコメントした。NABAは、ブラジルの修正案ではなくNABAが提出したオリジナルの寄書を支持したいとコメントし、米国も同調した。イスラエルは、FM放送のチャンネル帯域幅が各地域や国によって異なるため、各国のFM受信機の受信機の事情を考慮してはどうかとコメントしたが、英国は、本来このオピニオンは、詳細な技術ではなく、大きなコンセプトを主張していたのではないかとコメントし、米国はFCCの新チェアマンのコメントを引用し、緊急放送の重要性を説明した。

NABAと米国はオフライン議論し、タイトルに”broadcasting”という単語を追加し、指摘のあった特定の地域やシステムを想定せず、より一般的な表現に変えた文書を

作成した。エディトリアルな修正を行った後、新オピニオン案(6A/TEMP/61)としてSG6 へ送付した。

4. あとがき

今会合は、今研究会期において3回目のWP6A会合である。新勧告案1件、勧告改訂案1件、レポート改訂案4件、新オピニオン案1件の他、新レポートに向けた作業文書3件を作成するなど、成果の多い会合であった。

日本からは、3件の寄与文書を入力した。

1件目は、災害時に放送が果たすべき役割、各国の災害報道への取り組み、過去の災害で放送が災害軽減・防止に寄与したケーススタディなどをまとめたレポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」の改訂提案である。日本の災害時における放送継続のための取り組み事例として、非常用送信車の情報を追加する提案を行った。レポート改訂案としてSG6へ送付した。

2件目は、放送で利用されるSAB/SAPの技術パラメータ、運用特性、展開シナリオに関する情報をまとめたレポートITU-R BT.2344-0「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」の改訂提案である。42GHz帯を用いた8K UHDTV素材伝送用FPUの実験結果を追加する提案を行った。次会合まで継続審議するため、レポート改訂草案として議長レポート添付となった。

3件目は、研究課題の見直しの提案である。研究課題を各WPの所掌に即した内容に見直すための具体的な内容を提案した。次会合まで継続審議とするため、研究課題改訂案として議長レポート添付となった。

また、2016年10月の前会合で、1件の日本提案が継続審議となっていた。

地上デジタル放送のカバレッジの客観的評価に関する情報をまとめたレポートITU-R BT.2252に、日本国内の地上デジタル放送移行時に実施した「新たな難視地域の確認調査」の調査要領を、ISDB-Tのカバレッジ評価の実施例として追記する提案を行っており、今会合でレポート改訂案としてSG6へ送付した。

次会合に向けて、第1世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法に関するコレスポンスグループと、MERを用いた同一チャンネルにおける異常伝搬の影響評価に関するコレスポンスグループへ継続して参加する。また、新しく設置された中米・カリブ海地域の周波数コーディネーションに関するラポータグループにも寄与していく。さらに、UHDTVの伝送設備に関する情報やデジタルENGのユーザー要求の勧告に情報を追加するなどの寄与を行い、放送業務に関連した周波数利用をアピールするとともに、WP6Aの研究課題を精査するなどして、WP6Aの活動に貢献していく。

以上

表 1 日本からの出席者 (5 名)

氏 名	所 属
佐々木 智昭	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
根岸 聡	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
三谷 将	日本放送協会 技術局 計画部
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 研究主幹
成清 善一	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部

表 2 入力文書 (97 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/161	Chairman, WP 6A	Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 18 - 26 October 2016)	SWG6A-2	—
2	An.1	Chairman, WP 6A	Potential suppression of ITU-R Reports in the BT-Series	SWG6A-4	6A/68
3	An.2	Chairman, WP 6A	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BS.[IRDR] - Use of International Radio for Disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the short wave bands	SWG6A-5	6A/59
4	An.3	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BS.1114-9 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz	SWG6A-5	Note
5	An.4	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/62
6	An.5	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG6A-4	6A/64
7	An.6	Chairman, WP 6A	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2069-6 - Tuning ranges and operational characteristics of terrestrial electronic news gathering (ENG), television outside broadcast (TVOB) and electronic field production (EFP) systems	SWG6A-4	6A/73
8	An.7	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D	SWG6A-1	6A/63
9	An.8	Chairman, WP 6A	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2299 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG6A-4	6A/66
10	An.9	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2386-0 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)	SWG6A-1	6A/91
11	An.10	Chairman, WP 6A	Elements for future draft revision to Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	SWG6A-1	6A/75
12	An.11	Chairman, WP 6A	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2344-0 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG6A-4	6A/65
13	An.12	Chairman, WP 6A	Preliminary draft new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart/mobile telephones and tablets	SWG6A-5	6A/61
14	An.13	Chairman, WP 6A	Preliminary draft liaison statement to the CCV - Definition of adjacent channel selectivity threshold	SWG6A-1	6A/70
15	An.14	Chairman, WP 6A	New Correspondence Group - Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG6A-1	6A/77
16	An.15	Chairman, WP 6A	New Correspondence Group - Use of MER to assess impact of anomalous propagation on co-channel interference	SWG6A-1	6A/89
17	An.16	Chairman, WP 6A	Rapporteurs, Rapporteur Groups and Correspondence Groups of Working Party 6A	—	—
18	An.17	Chairman, WP 6A	Liaison statements to other FOR A	—	—

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP)
19	6A/162	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 6A and 7A) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	6A/71
20	6A/163	WP 7D	Liaison statement to Working Party 4A (copy to Working Parties 3M, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 7C) - WRC-19 agenda items 1.6 and 9.1, issue 9.1.9	SWG6A-3	Note
21	6A/164	WP 7B	Reply liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D and 6A concerning WRC-19 agenda item 1.7 - WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	6A/80
22	6A/165	WP 4A	Liaison statement to ITU-D Study Group 1, Question 2/1 (copy to Coordination Committee for Vocabulary (CCV), Working Parties 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D and 6A) - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries - What is the definition of Broadband?	SWG6A-4	Note
23	6A/166	WP 6B	Liaison statement to ITU-R Working Parties 6A and 6C - Global platform for the broadcasting service	SWG6A-1	Note
24	6A/167	WP 5B	Liaison statement to Working Party 1A (copied for information to Working Party 6A and ICAO) - Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG6A-3	Note
25	6A/168	WP 5C	Reply liaison statement to ITU-D Study Group 2, Working Party 1C (copy to Working Parties 1B, 3L, 4A, 5A, 5B, 6A for information) - ITU-D Question 7/2: strategies and policies concerning human exposure to electromagnetic fields	SWG6A-2	Note
26	6A/169	WP 5C	Reply liaison statement to ITU-R Working Parties 1A and 5A (copy to Working Party 6A for information) - Revision of Recommendation ITU-R SM.851 and WRC-19 agenda item 1.1	SWG6A-3	Note
27	6A/170	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 5B on technical characteristics for the fixed service for studies under WRC-19 agenda item 1.9.2 (copy to Working Parties 1A, 3M, 4C, 5A, 6A, 7B and 7D for information)	SWG6A-3	Note
28	6A/171	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D (copy to Task Group 5/1 for information) - Revision of Recommendation ITU-R F.699-7 - Reference radiation patterns for fixed wireless system antennas for use in coordination studies and interference assessment in the frequency range from 100 MHz to about 70 GHz	SWG6A-3	Note
29	6A/172	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 1B, 5A, 5B, 6A, 7A and 7D for information) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	Note
30	6A/173	WP 5A	Reply liaison statement to ITU-D Study Group 2 (copy to Working Parties 1B, 1C, 3L, 4A, 5A, 5C, 6A for information) - ITU-D Question 7/2: strategies and policies concerning human exposure to electromagnetic fields	SWG6A-2	Note
31	6A/174	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 6A - Amateur service characteristics in the 50-54 MHz frequency band to be used in sharing studies with the amateur service under agenda item 1.1	SWG6A-3	Note
32	6A/175	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7C (copied to Working Parties 3L, 5B, 5C and 6A for information) - Technical and operational characteristics for systems operating within the 40-50 MHz frequency range	SWG6A-3	Note
33	6A/176	WP 5A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 6B (copy to Working Party 5D)	SWG6A-1	Note

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP)
34	6A/177	WP 5A	Liaison statement to Task Group 5/1 (copied for information to Working Parties 3J, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, and 7D) - Preparations for WRC-19 agenda item 1.13	SWG6A-3	Note
35	6A/178	WP 5B	Reply liaison statement to Working Party 1A (copied for information to Working Parties 1B, 5C, 6A, 7A and 7D) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	6A/72
36	6A/179	WPs 5A and 5C	Liaison statement to ITU-D Study Group 1 (SG 1), Question 2/1 (copy to ITU-R Coordination Committee for Vocabulary (CCV); Working Parties 4A, 4B and 4C; Working Parties 5B and 5D; Working Party 6A for information) - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries - What is the definition of Broadband?	SWG6A-4	Note
37	6A/180	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 (copy to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 6C) - Liaison statement on determination of Amendment 1 to Recommendation ITU-T G.9700 (2014)	SWG6A-2	—
38	6A/181	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1C, 3L, 5A, 5B, 5C, 6A, 7A and 7D - Assessment of the impact of unwanted radio frequency energy generated by non-radiocommunication equipment to radiocommunication services (Questions ITU-R 221-2/1 and ITU-R 236/1)	SWG6A-2	Note
39	6A/182	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SHARING-METHODS] - Methods for sharing between radiocommunications services	SWG6A-3	Note
40	6A/183	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 5B and 6A - Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG6A-3	6A/82
41	6A/184	WP 1A	"Reply liaison statement to Working Party 5B (copied for information to Working Parties 1B, 5A, 5C, 6A, 7A and 7D) - Radio frequency ranges or wireless power transmission using technologies other than Radio Frequency Beam	SWG6A-2	6A/72
42	6A/185	WP 1A	Reply liaison statement to Working Party 6A (copy to Working Parties 1B, 1C, 5A, 5B, 5C, 7A and 7D) - Radio frequency ranges for wireless power transmission (WPT)	SWG6A-2	Note
43	6A/186	WP 1A	Reply liaison statement to Working Party 7D (copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 6A and 7A) - Radio frequency ranges for wireless power transfer (WPT)	SWG6A-2	6A/71
44	6A/187	WP 1B	Liaison statement to Working Parties 1A, 5B and 6A - Studies on WRC-19 agenda item 9.1, issue 9.1.6 (Resolution 958 (WRC-15) Annex item 1) "Wireless power transmission"	SWG6A-2	Note
45	6A/188	WP 1B	Reply liaison statement to Working Party 6A - Radio frequency ranges for Wireless Power Transfer (WPT)	SWG6A-2	Note
46	6A/189	WP 1B	Liaison statement to Working Parties 1A, 5B, 5C, 6A, 7A and 7D - Studies on "Wireless power transmission (WPT)"	SWG6A-2	6A/71
47	6A/190	WP 1B	Reply liaison statement to ITU-R Study Group 6, (copy to ITU-R Study Group 1, Coordination Committee for Vocabulary (CCV) and Standardization Committee for Vocabulary (SCV)) - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database	SWG6A-1 SWG6A-4	6A/70

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP)
48	6A/191	WP 1B	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-D/ITU-R Joint Group WTDC Resolution 9 with copy to ITU-D Study Group 1 - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] - Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands...	SWG6A-3	Note
49	6A/192	Chairman, WP 6A	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 Question 4/2 on collaboration	SWG6A-1	Note
50	6A/193	CCV and SCV	Liaison statement to ITU-D Study Group 1 Question 2/1 on broadband definition (copy to ITU-R Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D and 6A for information) - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries. What is the definition of Broadband?	SWG6A-4	Note
51	6A/194	Oman	DVB-T2 with HEVC in Oman	SWG6A-1	6A/75
52	6A/195	Co-Chair, IRG- IBB	Report of the seventh meeting of IRG-IBB	SWG6A-1	Note
53	6A/196	WP 5D	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 1B (copy to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-D/ITU-R Joint Group WTDC Resolution 9) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] - Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands by means...	SWG6A-3	Note
54	6A/197	WP 5D	Liaison statement to ITU-R Coordination Committee for Vocabulary (CCV) and ITU-T Standardization Committee for Vocabulary (SCV) on broadband definition (copy to ITU-D Study Group 1 Question 2/1, ITU-R Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5C and 6A) - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries. What is the definition of Broadband?	SWG6A-4	Note
55	6A/198	CBS	Draft liaison statement to the CCV - Definition of adjacent channel selectivity threshold	SWG6A-1	6A/70
56	6A/199	ABU	Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones	SWG6A-5	6A/61
57	6A/200	High Frequency Co-ordination Conference	International Broadcasting Delivery - Preliminary draft new Recommendation ITU-R BS.[IRDR] - Use of International Radio for Disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the short wave bands	SWG6A-5	6A/59
58	6A/201	NABA	Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones	SWG6A-5	6A/61
59	6A/202	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 4/2 to ITU-R Study Group 6 Working Party 6A on collaboration - ITU-D Study Group 2 Question 4/2: Assistance to developing countries for implementing conformance and interoperability programmes	SWG6A-1	Note
60	6A/203	WBU	Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones	SWG6A-5	6A/61
61	6A/204	CG BEYOND1stGE N	Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG6A-1	6A/77
62	6A/205	Free TV Australia	Ducting effects on received signal quality of digital TV services	SWG6A-1	6A/89

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
63	6A/206	Free TV Australia	Proposed framework of studies - Work Plan and Rapporteur Group to undertake related studies called for by CPM19-1	SWG6A-3	6A/78, 6A/83
64	6A/207	CBS	Proposals for a reorganized and extended version of the preliminary draft new Question on virtual-reality	SWG6A-1	Note
65	6A/208	CBS	Revision of Report ITU-R BT.2254 to include definitions for digital dividend and digital switchover	SWG6A-1	6A/75
66	6A/209	CBS	Suppression of ITU-R Reports in the BT-Series	SWG6A-4	6A/68
67	6A/210	USA	Comments on Annex 3 to the Working Party 6A Chairman's Report: Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BS.1114-9	SWG6A-5	Note
68	6A/211	USA	Input on the revision of Report ITU-R BT.2069-6, "Tuning ranges and operational characteristics of terrestrial electronic news gathering (ENG), television outside broadcast (TVOB) and electronic field production (EFP) systems"	SWG6A-4	6A/73
69	6A/212	USA	Input on the revision of Report ITU-R BT.2344-0, "Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting"	SWG6A-4	6A/65
70	6A/213	USA	Input on the revision of Recommendation ITU-R BT.1871-1 "User requirements for wireless microphones"	SWG6A-4	6A/64
71	6A/214	BBC	Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[NAT-APR]	SWG6A-3	6A/82
72	6A/215	BBC	Definition of Adjacent Channel Selectivity Threshold and a Proposed Draft Revision of Recommendation ITU-R BT.2036	SWG6A-1	6A/70
73	6A/216	Japan	PROPOSED REVISION OF REPORT ITU-R BT.2344-1	SWG6A-4	6A/65
74	6A/217	Japan	PROPOSED REVISION OF REPORT ITU-R BT.2299-1	SWG6A-4	6A/66
75	6A/218	Japan	PROPOSED TREATMENT OF ITU-R QUESTIONS ASSIGNED TO WP 6A	SWG6A-4	6A/67
76	6A/219	Japan	Latest Information on UHDTV Broadcasting in Japan	SWG6A-1	Note
77	6A/220	China	Mode Recognition for Some DTTB Signals Based on Correlation Detection	SWG6A-1	6A/87
78	6A/221	China	The Rollout Situation of CDR Systems in China	SWG6A-5	Note
79	6A/222	China	Worldwide Broadcasting Roaming Scheme for Terrestrial Television	SWG 6A-1	6A/87
80	6A/223	Italy and Vatican City State	On the Definitions of "PIXEL" in Broadcasting	SWG6A-4	6A/74(Re v.1), 6A/90
81	6A/224	Italy and Vatican City State	On the Definition of the Term "Adjacent Channel Selectivity Threshold"	SWG6A-1	6A/70
82	6A/225	Study Group 6 Rapporteur to the CCV	REPORT OF THE STUDY GROUP 6 RAPPORTEUR TO THE CCV	SWG6A-4	-
83	6A/226	Rapporteur on WPT	Report on Recent Developments on WPT Under Issue 9.1.6 of WRC-19	SWG6A-2	6A/71, 6A/72
84	6A/227	Free TV Australia	Draft Reply Liaison Statement to Working Party 7B Technical characteristics for the Broadcasting Service relative to WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	6A/80
85	6A/228	Rapporteur on PLT	Report on Recent Developments Concerning PLT Systems and General EMC-Related Interference Issues (Question ITU-R 221/1)	SWG6A-2	Note
86	6A/229	Germany	Proposed New Report ITU-R SM.[NAT-APR] (Reply to LS from WP 1A on Proposed Revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1)	SWG6A-3	6A/82

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
87	6A/230	NDR/ZDF	Preliminary Draft Revision to Report ITU-R BT.2386-0 - Digital Terrestrial Broadcasting: Design and Implementation of Single Frequency Network (SFN) New Section on: Statistical Aspects and Network Gain in the Planning of SFN	SWG 6A-1	6A/91
88	6A/231	Argentine Brazil Uruguay	Proposed Revision of the Preliminary Draft New Opinion The activation of radio receivers in smart/ mobile telephones and tablets	SWG6A-5	6A/61
89	6A/232	EBU	Draft Liaison Statement to Working Party 3K Location variability in land area-coverage prediction	SWG6A-1	6A/85
90	6A/233	EBU	Addition of Broadcast Sound Parameters to ITU-R BT.2383	SWG6A-1 SWG6A-5	6A/88
91	6A/234	EBU	Revision of Recommendation ITU-R SM.1875-2 Some Aspects of Planning Criteria, Coverage Measurements, Assessment and Evaluation of DVB-T and DVB-T2 as covered in Rec. ITU-R SM.1875-2 'DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria'	SWG6A-1	6A/77, 6A/86
92	6A/235	BBC	Considerations on Planning Criteria for LF/MF Broadcasting in Respect of Interference From WPT Equipment	SWG6A-2	6A/71
93	6A/236	RG11	Report of the Chairman on RG 11 Activity	AWG6A-5	6A/60
94	6A/237	Director, BR	Note to Working Party 6A - Technical criteria for DTT planning in Central American and Caribbean Region	SWG6A-1	6A/76
95	6A/238	CG on use of MER	Activity Report	SWG 6A-1	6A/89
96	6A/239	CG on use of MER	Draft liaison statement to Working Party 3K	SWG 6A-1	6A/69
97	6A/240	WP6C	Liaison statement of Working Party 6C to Working Party 6A on the definitions of "pixel"	SWG6A-4	6A/90
(注) Note: 情報として取り扱った文書 RG:RGで継続審議となった文書 CR:議長レポートの添付					

表 3 出力文書一覧(33 件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
1	6A/59	Draft new Recommendation - Use of International Radio for Disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the short wave bands	SWG 6A-5	6A/161 An.02, 6A/200	SG
2	6A/60	Preliminary draft revision to Report ITU-R BS.2213-3 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF	SWG 6A-5	6A/236	CR
3	6A/61	Draft new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart/mobile telephones and tablets	SWG 6A-5	6A/161 An.12, 6A/199, 6A/201, 6A/203, 6A/231	SG
4	6A/62	Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/161 An.04	SG
5	6A/63	Draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D	SWG 6A-1	6A/161 An.07	SG
6	6A/64	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-4	6A/161 An.05, 6A/213	CR
7	6A/65	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2344-0 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG 6A-4	6A/161 An.11, 6A/212, 6A/216	CR
8	6A/66	Draft revision of Report ITU-R BT.2299 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG 6A-4	6A/161 An.08, 6A/217	SG
9	6A/67	Preliminary draft revision of ITU-R Questions	SWG 6A-4	6A/218	CR
10	6A/68	Suppression of ITU-R Reports in the BT-series	SWG 6A-4	6A/161 An.01, 6A/209	SG
11	6A/69	Draft liaison statement to Working Party 3K - Use of MER to assess ducting	SWG 6A-1	6A/239	LS
12	6A/70	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/161 An.13, 6A/215, 6A/198, 6A/224	CR
13	6A/71	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B and their Rapporteur Group on WPT issues (copy for information to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7A & 7D) - Developments on Wireless Power Transfer under Question 210-3/1 and Issue 9.1.6 of WRC-19	SWG 6A-2	6A/162, 6A/186, 6A/189, 6A/226, 6A/235	LS
14	6A/72	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B, and to their Rapporteur Group on WPT issues, to Working Party 5B, and to the Study Group 1 Rapporteur Group on liaison with CISPR and Rapporteur to CISPR on WPT issues (copy for information to Working Parties 5A, 5C, 7A & 7D) - Liaison between ITU-R and CISPR and other SDOs	SWG 6A-2	6A/178, 6A/184, 6A/226	LS

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
15	6A/73	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2069	SWG 6A-4	6A/161 An.06, 6A/211	CR
16	6A/74(R ev.1)	Preliminary draft liaison statement to the CCV on the definitions of "pixel"	SWG 6A-4	6A/223	CR
17	6A/75	Elements for future draft revision to Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	SWG 6A-1	6A/161 An.10, 6A/208, 6A/194	SG CR
18	6A/76	New Rapporteur Group - Planning parameters for DTT coordination in Central American and Caribbean Region	SWG 6A-1	6A/237	CR
19	6A/77	Proposed continuation of Correspondence Group - Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG 6A-1	6A/161 An.14, 6A/204, 6A/234	CR
20	6A/78	Establishment of a Rapporteur Group to undertake WRC-19 related studies called for by CPM19-1	SWG 6A-3	6A/206	CR
21	6A/79	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[UHFUSE] - Characteristics and applications of broadcasting use within the frequency band 470-862 MHz	SWG 6A-3	—	CR
22	6A/80	Draft reply liaison statement to Working Party 7B - WRC-19 agenda item 1.7 - Preliminary draft new Report ITU-R SA.[SHORT DURATION NGSO - CHARACTERISTICS]	SWG 6A-3	6A/164, 6A/227	LS
23	6A/81	Draft liaison statement to Study Group 5 - Revision of Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG 6A-3	6A/652 An.06	LS
24	6A/82	Reply liaison statement to Working Party 1A (copied for information to Working Party 5B) - Proposed new Report ITU-R SM.[NAT-APR]	SWG 6A-3	6A/183, 6A/214, 6A/229	LS
25	6A/83	Work Plan for studies related to WRC-19 Resolutions and Recommendations	SWG 6A-3	6A/206	CR
26	6A/84	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG 6A-3	6A/652 An.06	SG
27	6A/85	Draft liaison statement to Working Party 3K - Location variability in land area-coverage prediction	SWG 6A-1	6A/232	LS
28	6A/86	Draft liaison statement to Working party 1C - Remarks and questions concerning the revision of Recommendation ITU-R SM.1875-2	SWG 6A-1	6A/234	LS
29	6A/87	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R BT.[WBR] - Worldwide broadcasting roaming	SWG 6A-1	6A/220, 6A/222	CR
30	6A/88	Working document toward preliminary draft new Report ITU-R BT.[B3BCPARAM] - Characteristics of digital terrestrial television and sound broadcasting systems in the frequency band 174-230 MHz for frequency sharing/interference analyses	SWG 6A-1	6A/233	CR
31	6A/89	Proposed continuation of Correspondence Group - Use of MER to assess impact of anomalous propagation on co-channel interference	SWG 6A-1	6A/161 An.15, 6A/238, 6A/205, 6A/TEMP/69	CR

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
32	6A/90	Draft liaison statement to the CCV on the definitions of "pixel"	SWG 6A-4	6A/223, 6A/230	LS
33	6A/91	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2386-0 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)	SWG 6A-1	6A/161 An09, 6A/230	CR
(注)CR: 議長レポートに添付、LS: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載、Note: 情報として取り扱った文書					